

経営比較分析表（令和5年度決算）

岐阜県中津川市 総合病院 中津川市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	ド透訓	救臨災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
74,532	25,973	-	第2種該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
316	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	316
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
298	-	298

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	-
-	年度	-

I 地域において担っている役割

当院は東濃東部地域の中核病院として急性期機能を中心とした役割を担っている。
また、地域包括ケアシステムにおける急性期を中心とした医療の役割を当院が担い、市内の他の医療機関等と綿密な連携を図っている。感染症対策においても市内の他の医療機関等への指導などを行い、地域の中心的な役割を果たしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①類似病院と同じ傾向ではあるが、新型コロナウイルス感染症に関する国、県補助金が縮小され、医業外収益が減少したことにより、経常収支比率が減少した。
②、③給与費や材料費が減少したことにより医業費用が減少し、医業収支比率、修正医業収支比率が改善した。しかし、医業収支比率をなるべく100%に近づけていく必要がある。
④数値は昨年度より増加したが、年度途中で病床数を変更し分母が減少したため、病床利用率が増加した。
⑤入院患者1人1日当たりの収益は、整形外科の患者数の増加に伴い増加していると考えられる。
⑥外来患者の1人1日当たりの収益は、昨年度と変動はないが、類似病院の平均より下回っている状態である。これは外来について、かかりつけ医のような役割を一部担わざるを得ない状況があることが考えられる。
⑦研修医の減員や退職給付費が減少し、給与費が減少したことにより減少した。
⑧高度医療による診療材料費が減少したために減少している。
⑨累積欠損金比率は類似病院の平均値より悪い状況であり、収支の改善をより一層図っていく必要がある。

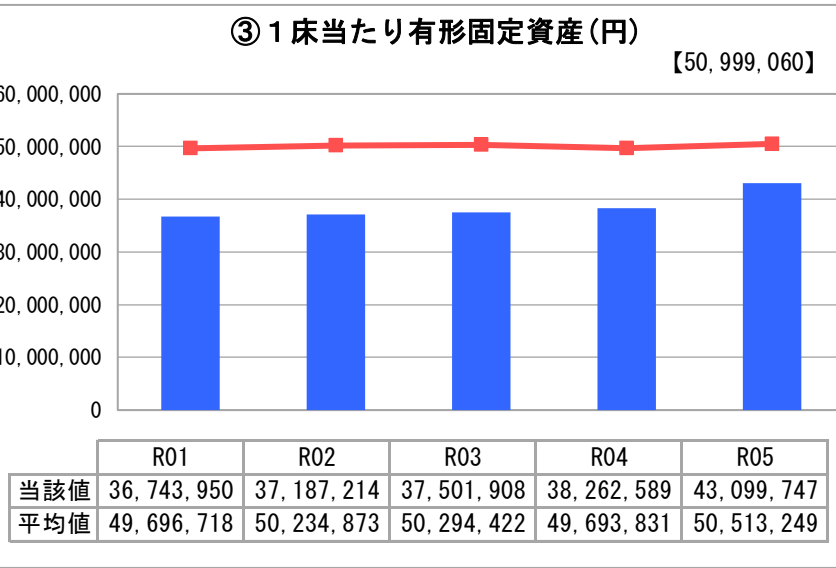
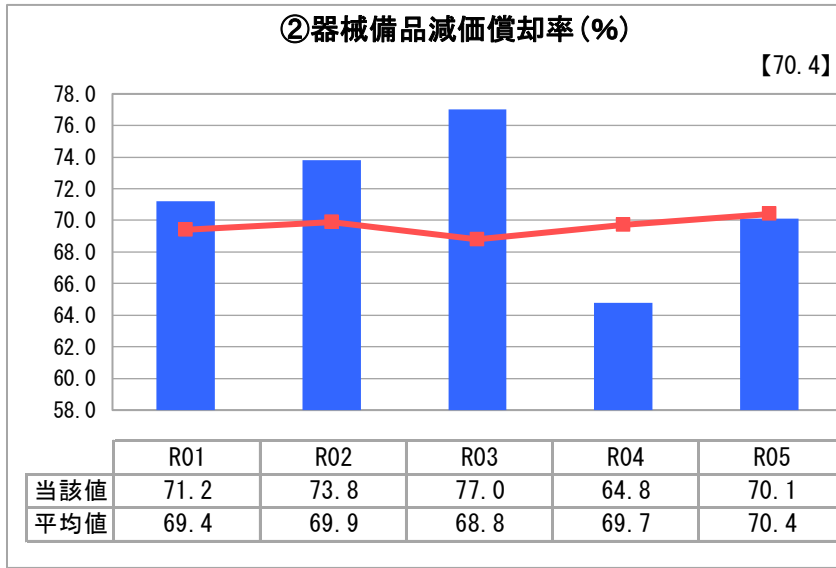
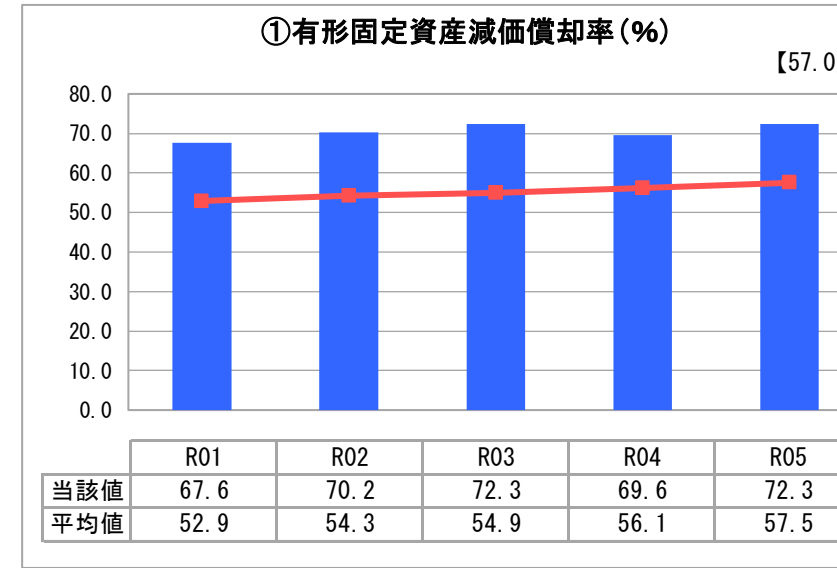
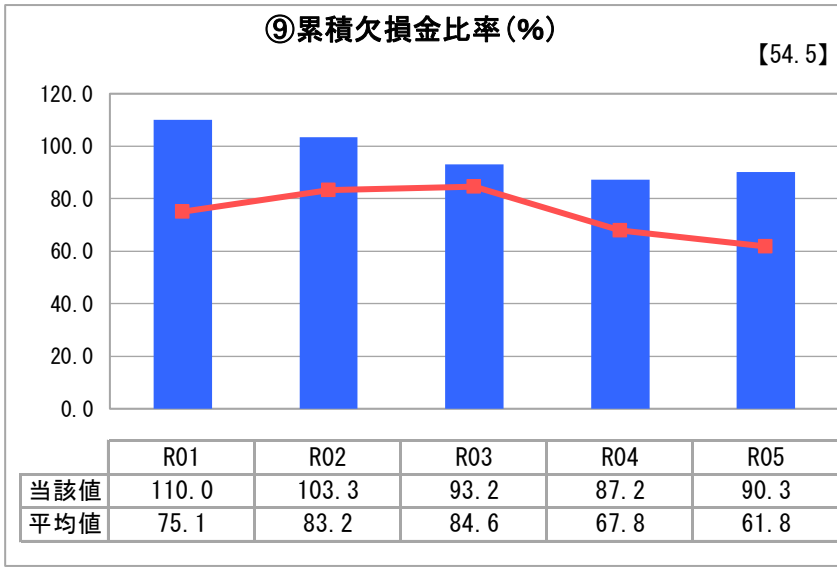
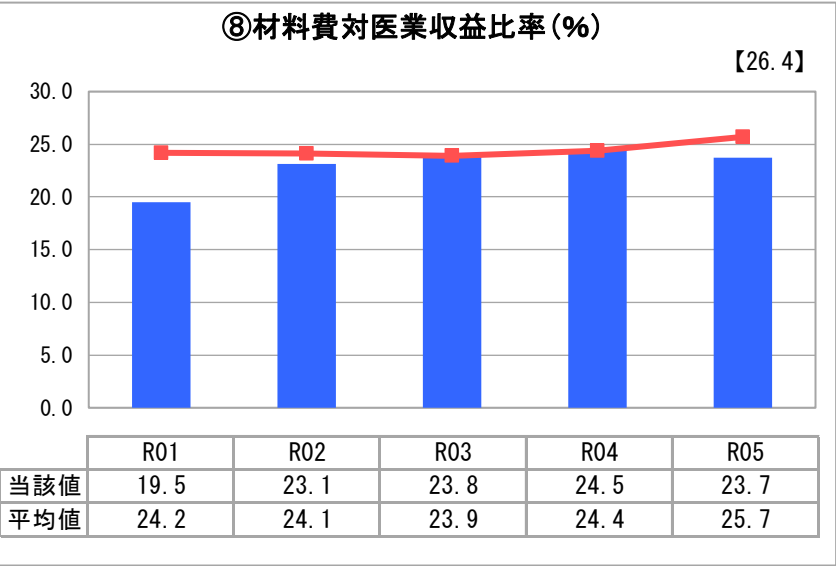
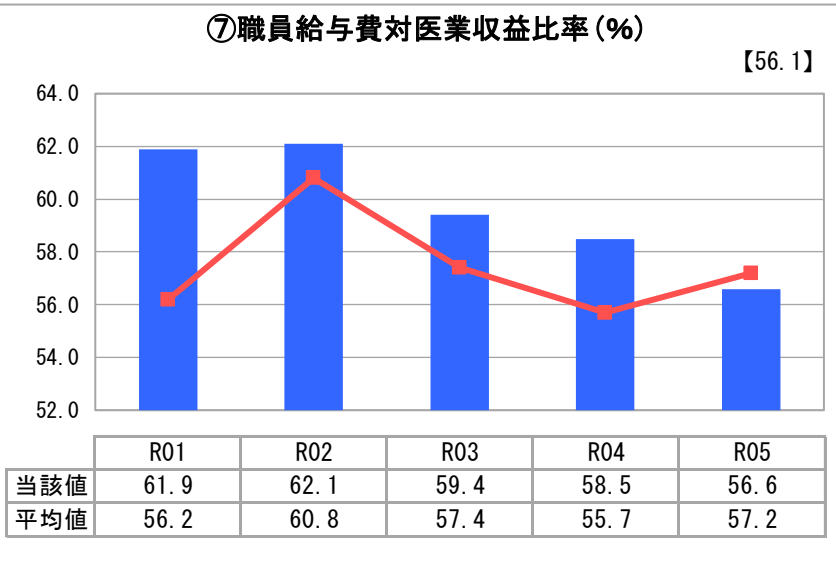
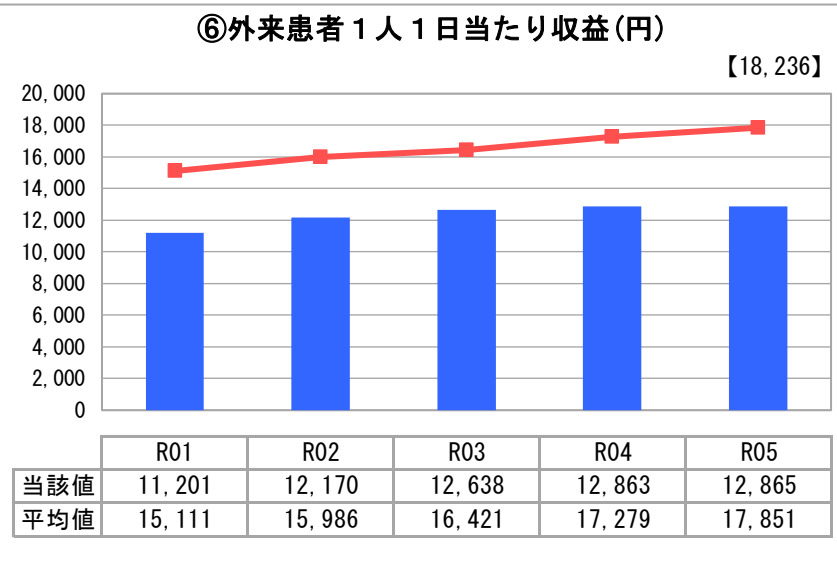
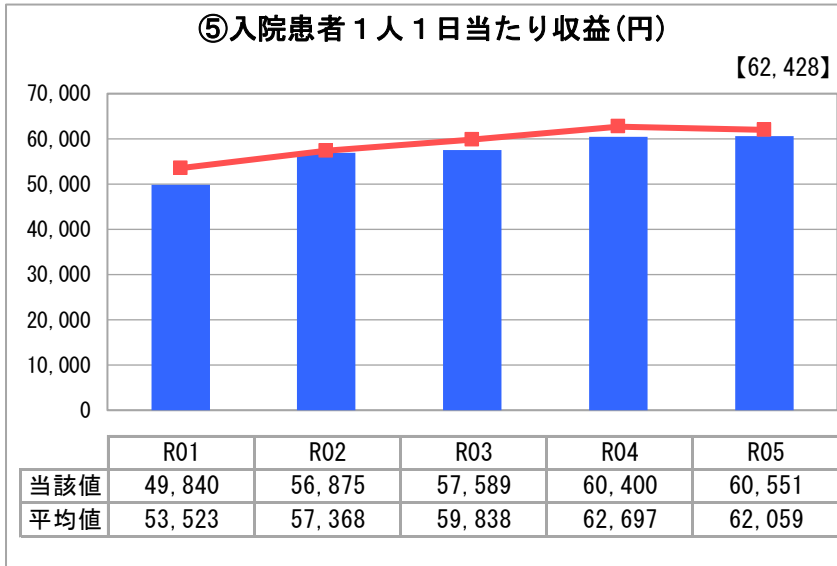
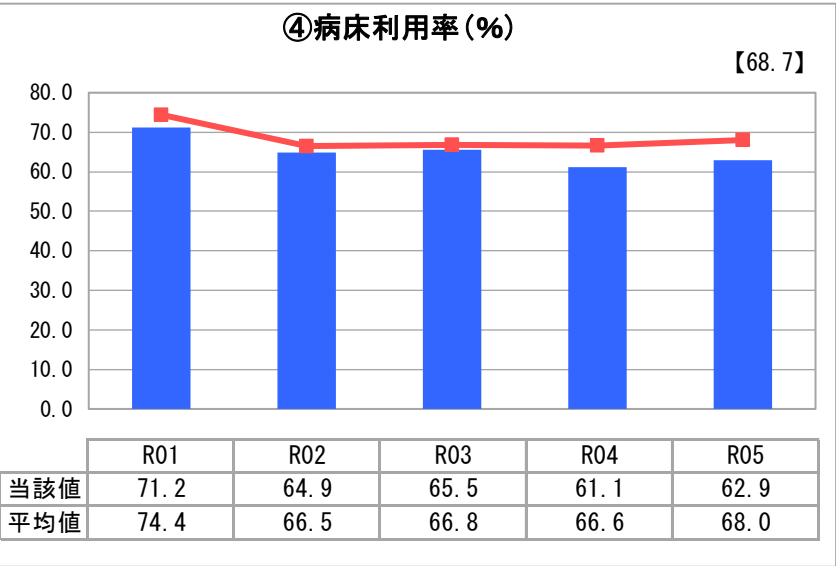
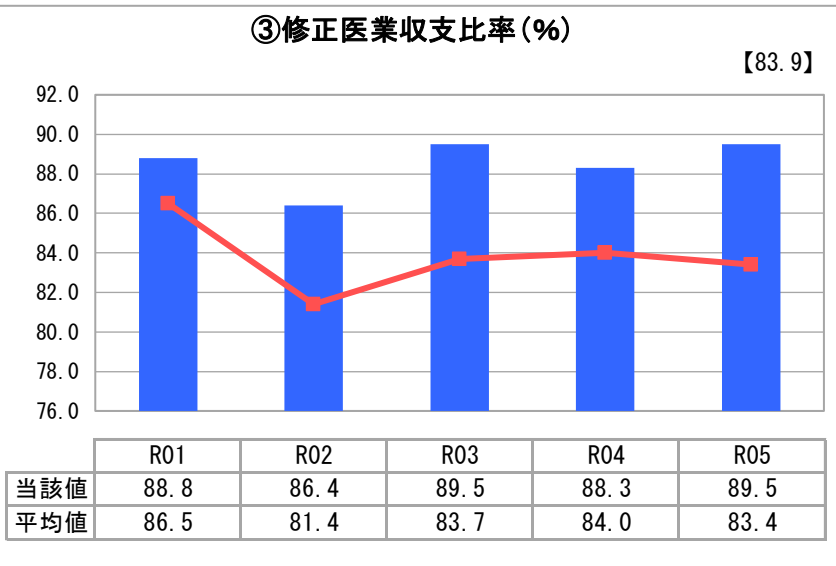
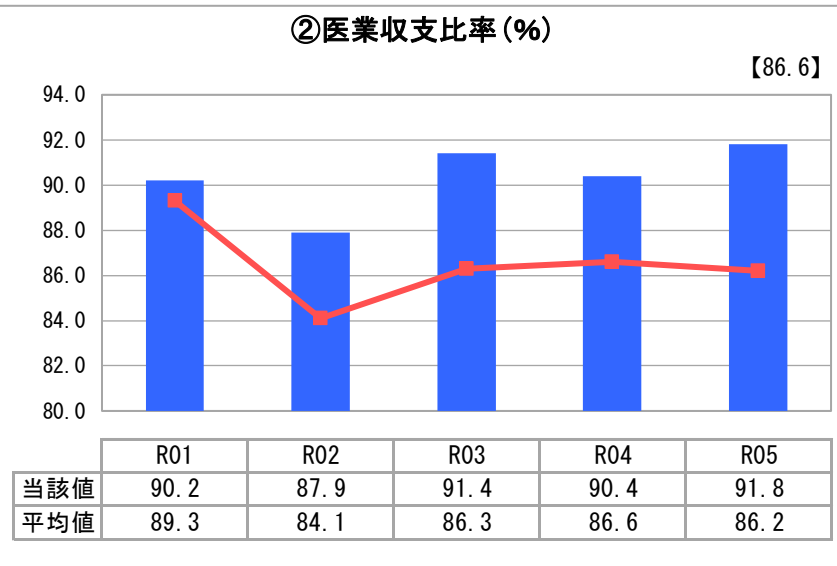
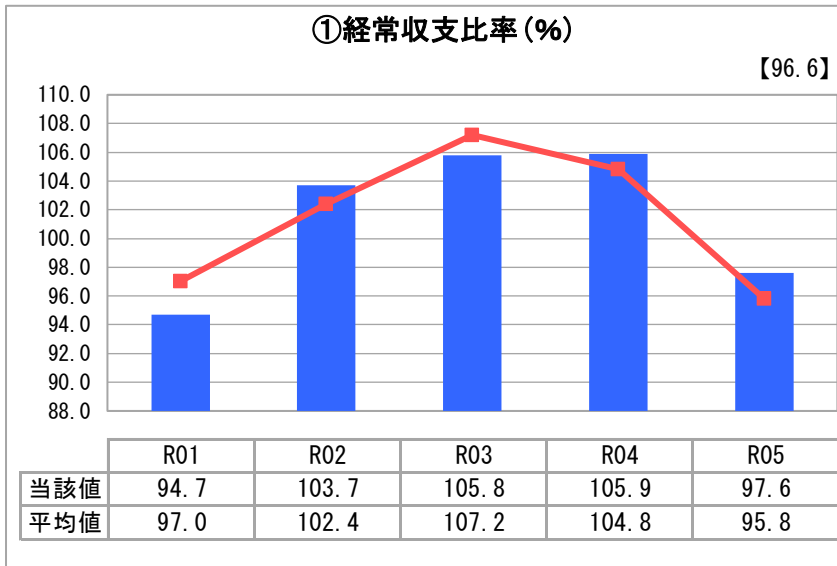
2. 老朽化の状況について

①建物が竣工から36年ということもあり修繕を行い維持しつつ、建物更新等について検討していく。
②昨年度は電子カルテの更新により、償却率が減少となっていたが、償却が始まったことにより増加した。今後も院内に設置する機器更新に関する委員会を中心に更新計画を立て、順次更新を進めて行く。
③数値が昨年度より増加したが、年度途中で病床数を変更し分母が減少したため増加した。今後も固定資産の取得、更新に関しては、院内において慎重に検討し、計画を立て、それに従い固定資産の更新等を行っていく。

全体総括

R5年度は新型コロナウイルス感染症に関する補助金等が縮小され、医業外収益が減少したことにより経常収支、純損益がマイナスとなった。資金についても今後減少していくことが想定されるため、より一層の費用削減と収益の確保に努める必要がある。
今後も東濃東部の拠点病院として安定的な医療提供体制を維持すべく、「経営強化プラン」の点検・評価により、検証・見直しを行い、経営の改善に努めていく。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。